

週刊「中国・アジア・ダイジェスト

2012.08.06-08.10

記事の詳細は、情報検索サービス
『キジサク』でご覧になれます。

*記事は東京発行・最終版

CHINA

8月7日(火)

青島に「中国版シリコンバレー」
ソフト・バイオなど市場創造型集積

青島市に「中国版シリコンバレー」を目指す産業集積地が誕生する。総額約560億円を投資、東京ドーム2.5分の敷地に、ソフトウエアやバイオなど市場創造型の企業を集めた団地を建設。(1面)

アマダは、中国社に生産委託
中小型汎用プレス機械

アマダは、中国のプレス機械メーカー、寧波念初機械工業と中国・東南アジア向け機種の生産を提供する。寧波C F Gに中小型汎用プレス機械の生産を委託する。年販100台を目指す。(1面)

省エネの中プロ47件調印
累計218件

経済産業省は、中国政府と共同で「第7回中日省エネルギー・環境総合フォーラム」を都内で開き、日中間の官民協力プロジェクト47件を調印した。06年からの累計で218件。(3面)

ホンダ、7月新車1%増
1 7月17.4%増、37万9058台

ホンダは、7月の中国新車販売が5万台45台と、前年同月比1.3%増加した。東風本田はCR Vが32%増と好調。广汽本田のアコードは44%減。1 7月は17.4%増の37万9058台。(時事=5面)

日阪製作所、北京に販売拠点
プレート式熱交換器など

日阪製作所は、100%出資子会社の日阪上海商貿を通じ、北京市に販売拠点を近く設置する。現地での営業力強化と日阪ブランドの知名度アップが狙い。主力のプレート式熱交換器などを販売。(6面)

建機、中国市場の回復に遅れ
今期の業績予想を修正

中国市場の回復が遅れているため、建設機械各社の業績に影響を及ぼし始めた。中国は金融緩和策だが建設市場は低迷が続く。コマツ、日立建機などが第1四半期で業績予想を修正。(6面)

SBI、健康関連で合弁
富裕層向け/医療・健康サービス

SBIウェルネスバンクは、SBIHDの中国事業統括会社・思益佰中国投資と、中国のハイテク企業傘下の浙江浙大網新聯合技術发展と合弁を設立。富裕層に高度な医療・健康サービス。(19面)

8月8日(水)

「いすゞブランド」で中国進出
江鈴汽車と合弁/ピックアップ10万台
いすゞ自動車は、いすゞブランドで中国に進出する。2014年初に江鈴汽車集団との合弁でピックアップトラック「D MAX」を生産・販売し、将来は10万台規模を見込む。(5面)三菱電、高速エレベーター受注
成都市/高層ビル2棟に88台
三菱電機は、四川省成都市で建設中の

39階建て高層ビル2棟から高速エレベーターを受注。分速360秒の高速エレベーター15台を含む計88台。成都など内陸部への需要が拡大する見通し。(8面)

SMK、重慶市に事務所開設
自動車・携帯向け開拓

SMKは、重慶市に事務所を開設した。現地スタッフ2人を配置。重慶市と成都地区周辺にある自動車や携帯電話のメーカーなどへの販売強化が狙い。中国での事務所は7カ所目。(8面)

新日鉄、中国でブリキ増産
宝山鋼鐵の年100万tに迫る

新日本製鉄は、中国・武漢鋼鐵集団(武鋼)と合併で計画中のブリキ製造・販売事業の規模を倍増する。ブリキ原板とブリキを年40万tずつ製造する。宝山鋼鐵の年100万tに迫る。(11面)

三菱マテ、電気接点で中国進出
素材から加工まで一貫製造体制

三菱マテリアルは、全額出資子会社の三菱マテリアルシーエムアイが東京丸善工業の中国子会社を子会社化。電気接点事業に進出する。加工のほか、素材から加工までの一貫製造体制。(11面)

8月9日(木)

LCDフィルム用粘着剤を生産
綜研化学/需要見込み進出

綜研化学は、南京市で液晶表示装置の偏光板用フィルム向け粘着剤を2013年春から生産する。現地ではLCDメーカーが増えており、近隣での生産が必要と判断。稼働当初は年数千t規模。(10面)

セメダイン、上海に販売会社
工業用接着剤/直販増やす

セメダインは、上海市に工業用接着剤などの販売会社を10月設立する。直接販売を増やす。接着剤、シーリング材、粘着材、特殊塗料などを扱う。これまでタイ、台湾に製造・販売拠点。(10面)

日通、合肥市と物流顧問契約
建機・家電メーカー進出

日本通運は、現地法人の中国日通が合肥市の合肥經濟技術開發区管理委員会と物流顧問契約。日系の建機、家電メーカーが多く進出。近年では医薬・医療機器関連メーカーの誘致も積極的。(13面)

大田精工、上海・香港に販売拠点
カメラ部品・小型モーター用の歯車

大田精工は、上海と香港に相次いで販売拠点を開設した。現地の日系企業向けにカメラ部品や小型モーター用の歯車などを販売する。香港は、ドル取引を要する顧客の窓口。(21面)

8月10日(金)

旭硝子、機能化学品の拠点
広州市/離型フィルム・洗浄剤向け

旭硝子は、広東省広州市に機能化学品の営業拠点を新設する。フッ素系機能化学品の販売や技術サービス、市場調査など。華南地域は電線や離型フィルム、洗浄剤などの用途での需要拡大。(3面)

帝人、中国でリサイクル事業
ポリエチレン製品/合弁9月設立

帝人は、中国でポリエチレン製品のリサイクル事業を展開するため合弁会社を9月設立する。ポリエチレン原料を年2万t、リサイクルポリエチレン繊維を年1万9000t。(12面)

次回は -
「中国・アジア・ダイジェスト」面
の次回は27日(月)に掲載します。

ひと

日中の架け橋に

「日本と中国の架け橋となるような立派な人に成長してほしい」と、京セラ会長の川村誠さん。中国から招いた小中学生40人の「中国少年友好交流訪日団」にあります。日本の文化や生活の実情に触れることで得られた「気づきや体験を大切にしてほしい」と激励。(7日=8面)

中国語が人生にも必要に

「社員がアジアへの関心を一層高める必要がある」と熱っぽく話す日本アジア投資社長の細野政さん。中国語研修を起爆剤にする考え。「中国語が社員一人ひとりの人生にも必要になるかもしれない」と語り、個人、法人の両面から研修制度の設置の意味を説く。(8日=17面)

台風が真上を通過した

「中国工場の真上を台风が通過した」と、車用ナットでトップシェアのフセラシ取締役の北沢章さん。浙江省の子会社の総経理を兼任。被害は免れたが、中国で部品供給の寸断は死活問題。「ライバルと手を組むことも大切。部品が作れなければ負け組にも…」。(10日=5面)

処理が可能な設備を提案。(13面)

ダンロップスポーツ、タイ販社
バンコク/ゴルフ用品

ダンロップスポーツは、タイ・バンコクにゴルフ用品の販売子会社「スリクソンスポーツ(タイランド)」を9月に設立する。ボールの「ゼクシオ」や「スリクソン」など用品を販売する。(15面)

台湾・工業技術研究院と覚書
東北ノイバーションキャビタル

東北ノイバーションキャビタルは、台湾の工業技術研究院と東北地方の中小企業支援で覚書。機械や環境、素材・ナノテク分野に強みを持つ中小企業と台湾企業を結びつけて市場を開拓。(25面)

ひと

ファッショニのニーズは不变

「欧州危機、中国や新興国の成長の鈍化、日本では電力の逼迫懸念など内憂外患」と、日本織維産業連盟会長で東レ相談役の下村彬さん。「中長期的にはアジアが世界経済をけん引し、製品安全問題への意識も高まる。ファッショニのニーズは不变」とみる。(6日=10面)

アジアを触媒に成長

「欧米が中心だった」と振り返るのは、酵素専業国内首位の天野エンザイム社長の天野源之さん。海外の大半は欧米向け。「アジアはコメ文化、日本との食の共通点も多い。経済成長が進み、医療・産業用での需要も見込める」。『アジア』を触媒に成長する考え。(7日=17面)

「アリサン」を知らない

「海外駐在員が日本人コミュニケーションにてどまってしまっていないか」と、丸の内ブランドフォーラム代表の片平秀貴さん。消費財メーカー5社とインドネシアでマーケティング合宿。「8年駐在してもアリサンを知らない。現地コミュニティに入れてない」。(8日=22面)

ASIA

8月6日(月)

伊藤製作所、インドネシア生産
自動車用の順送ブレス金型

伊藤製作所は、インドネシア・ブカリ県で自動車用の順送ブレス金型と部品を2013年夏から生産する。現地財閥ニューユー・アルマダの企業と合弁会社、3年後に付属する油圧シリンダー。(1面)

日立建機、インドの組織を強化
新興国テコ入れ

日立建機は、営業統括本部のインド事業部に、開発生産本部と営業本部を新設する。インドでは連結子会社を通じ事業展開。今回、事業部の組織を強化、新興国向け製品開発や販売を強化。(7面)

亀田製菓、ベトナムに合弁会社
米菓製造/現地市場35億円

亀田製菓は、ベトナムに米菓製造の合弁会社を9月に設立する。ハノイ市に工場を建設、2013年4月稼働。資本金は500万ドル(約3億9000万円)。ベトナムでの米菓市場は年間約35億円。(16面)

8月7日(火)

ズスキ、タイ倍増
年産2万5000台/「スイフト」好調

ズスキは、10月をめどにタイ工場の年产能力を2倍の2万5000台にする。タイで3月に発売した小型車「スイフト」の現地での受注が想定以上に好調なため、前倒して増産する。(1面)

曙ブレーキ、タイ工場増産

新型「ミラージュ」増産対応
曙ブレーキ工業は、タイ工場で自動車用ブレーキ部品の生産能力を強化する。摩擦材を2倍の月40万個以上に、キャリパーを70%増の同120万個に。三菱自動車の新型「ミラージュ」増産対応。(5面)

台湾TSMCが出資

蘭ASML/次世代製造装置プロ
オランダの半導体製造装置大手・ASMLは台湾TSMCの出資を受け入れる

方針。TSMCは1億1400万t(約1080億円)を投じ、ASMLの次世代の半導体製造装置の開発プロに参画。(8面)

南武、タイ工場を稼働

特殊油圧シリンダー/月300本

南武が、タイで特殊油圧シリンダーの自前の工場を稼働。生産能力は月300本で本社工場と同程度だが、受注拡大に伴い設備を増強する。生産するのは金型に付属する油圧シリンダー。(23面)

8月8日(水)

パキスタンの委託生産を停止

ダイハツ/「クオーレ」

ダイハツ工業は、パキスタンでトヨタグループの合弁会社に委託生産していた「クオーレ(日本名=ミラ)」の生産を停止した。同国での排ガス規制に対応しても、採算が合わないと判断。(5面)

ガスエンジン、東南アに拠点

川重/現地エンジンと連携

川崎重工業は、東南アジアにガスエンジンで海外初めてとなる販売拠点を2012年度にも新設する。営業・サービス体制を拡充し、現地エンジニアリング会社などと連携。(6面)

松浦機械、台湾製M C 2機種

高品質主軸/30-40%低価格

松浦機械製作所は、低価格の立型マシンニングセンター(M C)2機種を発売した。台湾の大手メーカーからO E M調達した機体に高品質な自社製主軸を搭載した。30-40%低価格。(6面)

JFEエンジンが航空機油給油設備

ベトナムの空港から受注

JFEエンジニアリングは、ベトナムのノイバイ空港向けに航空機用燃料給油設備のE P C(設計・調達・建設)業務を受注した。第2ターミナルに2014年末に完成する予定。(6面)

三菱重工、2地域に総代表

アジア・パシフィックと南米

三菱重工は、南米とアジア・パシフィックの両地域に、地域経営の方向付けを行う総代表を設置する。成長を見込める重要な市場として、中国、欧州、米州に次いで総代表を置く。イン

ERP、インドネシアで拡販
東洋ビジネスとネットマークス

東洋ビジネスエンジニアリングとネットマークスは、統合業務パッケージ(E R P)をインドネシアで拡販するために協業する。日系企業へのE R P導入支援を強化する。(10面)

味の素、ベトナムで栄養士育成

寄付講座/10月開設

味の素は、ベトナム国立ハノイ医科大学とベトナム保健省管轄の国立栄養研究所と共同で、ベトナムでの栄養士育成に向けた取り組みを始める。指導者養成寄付講座を10月1日から開設。(15面)

近鉄エクス、台湾に大型倉庫

桃園国際空港に隣接

近鉄エクスプレスは、台湾唯一の空港自由貿易港区で桃園国際空港に隣接する遠雄航空自由貿易港区に大型倉庫を2014年1月開設。延べ床面積3万9110平方メートル。国際物流業者で最大規模。(15面)

8月9日(木)

日立、海外で幹部予備軍、研修

11月/シンガポール

日立製作所は、11月にシンガポールで海外拠点の幹部候補生を対象とした研修会を初めて開く。研修ではリーダーとして必要な知識の習得以外に幹部候補としての自觉を持ってもらう。(3面)

堺商事、インドネシアに合弁

衛生材料関連商品

堺商事は、インドネシアのP Tマルチ・スブニンド・ジャヤと、現地に衛生材料関連商品の製造・販売の合弁会社「P T S & S H I V I J A N E S S O R Y U S H I O N G」を9月に設立する。(